

笑顔いっぱい 清里っ子



荒尾市立清里小学校
学校だより
第11号
R3. 2. 10(水)
文責 立石 毅

1年間のまとめ（学習・生活）に入りました

卒業式・修了式まであと1ヶ月、しっかりと学習面・生活面のまとめをしていきます。



後期後半、コロナ禍の中、可能な限り、目で見、聞いて、体験する学習を行いました

租税教室（6年生）



税務署との連携により、税理士の方においでいただき、6年生を対象に、1月15日（金）に、租税教室が行われました。

税理士の方から、税金のしくみや税金の使い方についてのお話（消費税は、火事の時の消火にも使われるなどの話）があり、子どもたちは、税金の大切さについて理解したようでした。

薬物乱用防止教室



1月20日（水）に、学校薬剤師の水元先生、学校歯科医の田畑先生においでいただき、5・6年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。（本年度は、密を避けるために、学年を一つ減らしました。）

子どもたちは、「用法と違う使い方も乱用です」という言葉にびっくり。自分たちの身近にある違法ドラッグについても学ぶことができ、有意義な時間になりました。

くまもとの木を学ぶ授業（5年生）

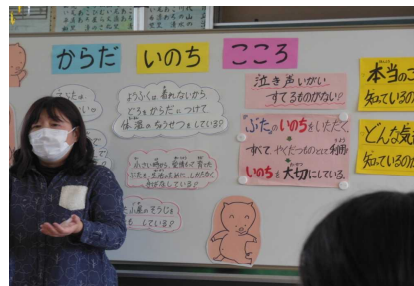


1月21日（木）に、玉名振興局の林務課の方においでいただき、5年生を対象に、「くまもとの木を学ぶ授業」がありました。

クイズ形式で学習したり、熊本県産の木を使って「ねずこ箱」（鬼滅の刃に関連した箱です。）を作ったりして、楽しく森林について学ぶことができました。

上の写真は、木に釘を打つのに悪戦苦闘している子どもたちの様子です。

「いのちの学習」



それぞれの学年の身体測定の時間に、本校の宮本養護教諭が、「豚」の生態や豚のいろいろなところがいかされれている物について話をし、「いのちの学習」を行いました。

子どもたちは、「豚」は、とてもきれい好きであること、高級歯ブラシや太鼓に豚の毛や皮が使われていること、食用ゼラチン・工業用ゼラチンとして使われていることなどを知り、命の大切さとともに、本当のことを知る大切さも学ぶことができました。

生活科の学習（1・2年生）の一コマです



1年生

「冬の遊び」の学習で、グニャグニャダコを作って遊びました。普段しないので、ひもを結ぶのが、とてもむずかしかったようです。



2年生

学級園で、水菜と小松菜を育てました。頑張って世話をしたので、大きく育ちました。家で食べておいしかったことでしょう。

校内持久走大会



1月26日（金）に校内持久走大会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大で県から緊急事態宣言が出されたので、当日は、急遽、無観客で、保護者の方にも応援はひかえていただき、低学年、中学年、高学年と時間をずらして実施しました。



当日は天気はよかったのですが、気温が低く寒風が吹く中、子どもたちは、元気いっぱいに走りました。

記録をめざす子、自分のペースで走る子、完走をめざす子、それぞれ自分らしく走りきることができました。みんな本当によく頑張りました。

テントをいただきました



清里地区協議会から、新しいテントを学校に寄贈していただきました。

スポーツフェスティバルの時に立てていたテントを見られた迎会長様が、あまりにも古いので、協議会で話し合っていたいただき、学校でぜひ使ってほしいということで購入・寄贈いただきました。

今年度はできなかった全校児童での運動会、来年度は、新品のテントの下で気持ちよくできればと思います。本当にありがとうございました。

熊本県学力調査について



12月初めに、3年生から6年生までを対象に、国語と算数で熊本県学力調査が実施されました。熊本県学力調査は、学習した知識や技能が身についているか、身につけた知識や技能を生かして考えたり書いたりできるか（活用力）を見るものです。

そして、2月初めに採点結果がでました。結果は、全学年でほぼ全国平均・県平均と同程度かそれ以上の成績でした。（※保護者の皆様には、後日、個人票を配ります。）詳しく見ると、算数より国語の成績がよくて、学年によって課題（苦手な分野）が異なりました。

子どもに対するアンケート調査（質問紙調査）は、「学級風土（学級の雰囲気）」の項目が全学年高かったです。「充実感と向上心（自分を信じて頑張る力）」の項目は、やや低かった学年が多かったです。

現在、全職員で結果を分析し、成果と課題について話し合い、課題である学習内容の復習と課題克服プリント（県教育委員会作成）等に取り組んでいるところです。子どもたちに確かな学力が身につくように、子どもたちの意識が向上するように取り組んでいきます。